

2025年12月12日(金曜日)の読売新聞に
青森県東方沖地震に伴う
「救缶鳥」事前支援について掲載されました!

25 地域 栃木 13版 2025年(令和7年)12月12日(金曜日) 青森 三陸沖 読売新聞

栃木



宇都宮支局
〒320-0822 宇都宮市河原町1-4
電話028-638-4311 F a x 638-8300
メール
utsunomiya@yomiuri.com

小山支局
〒323-0807 小山市城東1-7-30
電話0285-22-0855 F a x 23-1556
日光支局
〒321-1266 日光市中央町1-6
電話0288-21-2434 F a x 21-4413
足利通信部 0284-41-2969
栃木通信部 028-638-4311
真岡通信部 0285-82-2672
大田原通信部 0287-22-2115
那須塩原通信部 0287-74-2172
ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
Y 0120-4343-81

栃木県読売会 028-638-6300
【広告】読売栃木広告社 028-635-1261
【折込】読売読売 I S 028-612-2015
【読売旅行】宇都宮営業所 028-624-8181

12月13日(土曜日)

パンの缶詰で安心感を

那須塩原の会社、陸前高田に



支援物資を車に積み込む秋元社長(11日、那須塩原市で)

後発地震に備え支援物資

青森県東方沖を震源とする8日の地震で「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が出されている中、那須塩原市のパン製造販売会社「パン・アキモト」は11日、防災備蓄用に同社が販売している「パンの缶詰」を対象地域に事前支援するたため、岩手県陸前高田市に出發した。

パンの缶詰は柔らかいまま長期保存が可能なのが特徴。同社はパンの缶詰を自治体や企業などに販売する傍ら、賞味期限の1年前に顧客から回収し、国内外の被災地などに届ける「救缶鳥プロジェクト」にも取り組んでいる。

今回の支援はその取り組みの一環。以前から同社と交流のあった岩手県陸前高田市に対し、後発地震発生に備えるために申し出たという。

この日は、ブルーベリーやオレンジなど様々な味の「パンの缶詰」65ケース、計1560缶と、カイロ960個を乗用車に積み込み、同社の秋元信彦社長の運転で出發した。12日に現地に到着予定だ。

秋元社長は「『パンの缶詰』を食べて少しでもホッとして安心した気持ちになってもいい」と話した。